

平成25年度 第1回健康づくり推進協議会

1	審議会名	健康づくり推進協議会
2	日時	平成25年7月31日 午後 1時30分から午後2時45分まで
3	会場	穂高健康支援センター採血室
4	出席者	武井委員、伊藤委員、下條委員、村田委員、宮澤委員、板花委員、平倉委員、鶴見委員、花岡委員、渡辺委員、松田委員、 (欠席 中村委員、草間委員、鈴木委員、高橋委員)
5	市側出席者	飯沼部長、太田課長、高橋課長補佐、飯田係長、久保田係長、塚田係長、宮島課長補佐、百瀬主査、渡邊保健師、大池歯科衛生士、山本主事
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成25年8月8日

協 議 事 項 等

- 1 会議の概要
 - 1 開 会 (太田課長)
 - 2 あいさつ (飯沼部長)
 - 3 協議事項
 - (1) 平成24年度保健事業報告について(事務局より説明)
 - ①安曇野市の人口、死因に対する分析、国保医療費の状況等を説明。
 - ②母子保健事業における、妊婦に対するケア、乳幼児の発達支援、育児教室・相談、訪問指導などを説明。
 - ③成人保健での各種健診の結果で安曇野市における傾向、その他各種施策の成果と課題を説明。
- 質疑応答
- (委員) 母子保健事業の概要は分かったが、当市の傾向は、どういったものであるのか。
- (事務局) 乳幼児健診や、健康相談において、運動発達や精神発達上で経過観察が必要な子どもや家族に対して行っている「あそびの教室」の参加が増えてきている。
- (委員) 資料を見て、妊娠した15歳～19歳の方が去年の3倍であることに驚いた。こういった若い妊婦の方への支援では、特別に何かされているのでしょうか。
- (事務局) 10歳代で妊娠した方に対しては、妊娠中から家庭訪問などをして支援している。
- (委員) 健診結果の傾向で、血糖、中性脂肪が高い傾向との指摘があったが、午後からの方は、昼食をとってから行ってしまい、正しく結果が出ないので指摘も値だけを見て判断するのはいかななものか。
- (事務局) 本来でしたら、食事をとらないで受けるようにさせるべきでしたが、そういった条件を考慮しても、当市では血压、血糖、中性脂肪は高いと思われます。
- (委員) しかし、結果を正しく出すことは重要ですので、健診に行く直前は食事をとらないよう、周知するチラシも検討して下さい。

- (2) 平成25年度保健事業計画について（事務局より説明）
母子保健事業、成人保健事業、精神保健事業、感染症予防、地域医療の各分野での今年度思点的に行うことを説明。

質疑応答

- (委員) 災害時医療救護マニュアルの改訂をと言われていましたが、それは学校にも配布されますか。学校が避難所となっているので、鍵をあけるのは誰かなどの詳細を教えてください。
- (事務局) 医療救護所は、保健センターです。また、それは災害発生後48時間までの早期医療を想定しているもので、その時間内の行動を決めるものです。避難所は危機管理室が担当になりますのでお伝えします。
- (委員) 特定健診での傾向は、市民に伝えているか。
- (事務局) 健康づくり推進員の講義の場で伝えることや、広報にも掲載しています。その甲斐もあって、ここ2～3年は、まだ課題がありますが、健康診断での血糖値、血圧は減少傾向にあります。

(3) その他

平成25年8月24日

健康づくり講演会「こどもの頃からの生活習慣病予防」

豊科ふれあいホール

4 閉 会 (太田課長)